

先般、記念日に参加した際に、小生等の学校卒業時に想いを込めて歌った「蛍の光」に 3 番と 4 番があると聞き、調べてみた。御承知のように「蛍の光」はスコットランド民謡であり、これを東京師範学校の教員、稲垣千穎が替え歌として 4 番まで作詞したものである。これが、1981年に小学唱歌に採用された。同年発刊の小学唱歌集初編に掲載された歌詞は以下の通りである。海軍兵学校でも、告別行進曲として卒業式典曲

- | | | |
|---|-----------------|-------------------|
| 1 | ほたるの光、窓の雪 | 書（ふみ）よむ月日、重ねつつ。 |
| | いつしか年も、すぎの戸を、 | 明けてぞ、今朝は、別れゆく。 |
| 2 | とまるも行くも、限りとて、 | かたみに思う、千よろずの、 |
| | 心のはしを、一言に、 | さきくとばかり、歌うなり。 |
| 3 | 筑紫のきわみ、陸（みち）の奥、 | 海山遠く、へだつとも、 |
| | その真心は、へだてなく、 | ひとつに尽くせ、国のため。 |
| 4 | 千島のおくも、沖縄も、 | 八洲（やしま）のうちの、守りなり。 |
| | 至らんくにに、いさおしく | つとめよ わがせ、つつがなく。 |

4 番の歌詞は、当初案が“八州の外”であったが、千島樺太交換条約及び琉球処分により、“八州の内”と改変され、更に日清戦争後の台湾割譲後は沖縄を台湾と改変し、日露戦争後は、“台湾の果ても樺太も八州の内の守りなり”と改変された経緯がある。

3 番についても、当初案では 3 唱節目が「かはらぬころ ゆきかよひ」であったが、この文言が男女間のものであるとのクレームがついて変更された。

さて、何故に 3 番と 4 番が歌われなくなったのかは不明である。GHQ の指導なのか、“一つに尽くせ国のため”の文言が戦後の御時勢に合わないとする考えもあり、また“至らん国に 勇おしく”などやや不適切な文言もあり、サンフランシスコ条約により国土が色々と変更されたこともあって、歌詞に合わなくなってきたから、自粛するようになったのか……。

確かに、3 番及び 4 番は、辺境の地に赴任する者を見送る時の歌であって、学校での別れの歌ではないようだ。

原詩（Auld lang syne）では、知己の仲間内で宴会をした際に最後に再会を誓って歌われる曲である。

韓国においては 1948 年に大統領令によって新国歌が制定されるまで、国歌「愛国歌」は「蛍の光」のメロディにのせて歌われていた。

さて、今年は例年になく暖冬で、桜も早いかと思われたが実際は例年と大差なかった。千鳥が淵や日比谷公園等の桜を愛でつつも、他の桜の名所にも浮気した。その幾つかを紹介したい。

① 東京の桜の名所

東京には結構桜の名所があるものである。皇居周辺に集中している感がある。ウォーキングを兼ねてこれらの名所を訪ね歩いた。



② 桜と芝桜

ニュースで偶々館林の野鳥の森ガーデンの桜と芝桜が咲き始めたとのことで、長駆出掛けた。昨年には秩父の羊山公園の芝桜を堪能したが、本公園は開園間もないとのことで今後に期待できそうだ。芝桜も多種類で中には青っぽいものもあり、結構楽しめるものである。



③ 桜と雪

昨秋に訪れたホテルが桜も見応えがあるとのことで、今春に予約した。桜は満開で最高でしょうとのことで期待していたのだが、時ならぬ雪に見舞われて、行くべきか否か迷ったが、春の雪は融けるであろうとの見込みで計画通りに行動した。ライトアップされた桜の玄妙さを堪能した。



④ 桜と人間将棋

部隊の記念日参加に際し、天童市に宿泊した。偶々当日舞鶴山で、人間将棋を開催中とのことで、早速に出掛けた。女流名人と女流初段の対局は終盤であったが、初めて間近に見る機会を得た。爛漫たる2千本の桜の下で繰り広げられた時代絵巻は流石であった。その昔太閤秀吉が関白秀次を相手に桜花爛漫の伏見城で小姓と腰元達を将棋の駒に見立てて将棋を楽しんだという故事に倣って、将棋の街天童で昭和31年から開催されている。

記念行事の行われた陸上自衛隊神町駐屯地は小生が初級幹部の頃勤務した地であるが、今回訪れてその桜の見事さに圧倒された。

